

2023年10月6日
商工中金

循環型社会の実現を目指す永田紙業株式会社様に対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した 総額 22 億円のシンジケートローンを組成

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（熊谷支店）は、永田紙業株式会社様（本社：埼玉県深谷市、代表者：永田 耕太郎様）に対し、総額 22 億円のシンジケートローンを組成しました。商工中金がアレンジャーを、群馬銀行がコ・アレンジャーを務め、足利銀行、埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、日本政策金融公庫、埼玉信用組合が参加し、地域金融機関等との協調により、その組成が実現したものです。なお、本融資の内、コミットメントラインについてポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、古紙卸売業及び産業廃棄物の中間処理業者です。関東全域の認可を有し、機密文書を含む古紙・一般廃棄物・産業廃棄物のリサイクル業務を手掛けています。

今回同社は、本資金枠を活用し、受注拡大による循環型社会の実現への更なる貢献やダイバーシティ等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組 成 金 額	10.2 億円(タームローン)、12 億円(コミットメントライン) 合計 22.2 億円
アレンジャー兼エージェント	商工中金 4.8 億円
コ・アレンジャー	群馬銀行 5.3 億円
参加金融機関	埼玉りそな銀行、足利銀行、埼玉縣信用金庫、日本政策金融公庫 埼玉信用組合 合計 12.1 億円
契約締結日	2023年9月29日

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【永田紙業株式会社様の概要】

所在地	埼玉県深谷市長在家198
代表者	永田 耕太郎様
業種	古紙卸売業
資本金	1,000万円
従業員数	166名(2023年6月時点)
設立	1973年5月



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト(ポジティブな影響・ネガティブな影響)の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付付研究所より第三者意見書を取得しています。

